

社会的セーフティネットの構築

—アメリカ・フランス・イギリス・日本—

編著／岩崎久美子（放送大学教授） 2019年2月21日発行

A5判 208頁 本体1500円+税 送料／300円 ISBN-7937-0138-2 C3037

【特色】 本書は、アメリカ、フランス、イギリス、日本における子どもの貧困と教育の状況について述べた総論と、各国の非営利組織の事例から構成される。本書に非営利組織の事例を多く収録したのは、国内外の調査により、今後の地域課題や社会課題への対応には、縦構造の組織形態ではなく、横構造の連携、つまり、行政などの公的セクター、企業などの私的セクター、非営利組織などの社会的セクターのそれぞれが水平につながることが重要であり、また、その際、多様な担い手をつなぐハブ（中核）としては、社会的セクターが最も適していると感じたことが理由である。加えて、地域課題や社会課題に対しきめが細かい効果的なセーフティネットを形成するには、該当する課題と達成目標の共有、組織・団体間の強みと特徴を把握した上での明確な役割分担、パートナーとなるべき組織・団体をつなぐ中間支援組織の存在、などが不可欠であるとあらためて感じたこともある。そのため、本書ではこれらの知見をもたらした訪問調査先である国内外の非営利組織の紹介に紙面を割いてある。

社会的セーフティネットの構築
—アメリカ・フランス・イギリス・日本—

目次

第1章 アメリカ

総論：アメリカにおける子どもの貧困と教育

- 事例1：フェイスーズSF
- 事例2：カリフォルニアNPO協会
- 事例3：フリーモント・ファミリー・リソース・センター
- 事例4：スパークポイント
- 事例5：ティーチ・フォー・アメリカ
- 事例6：イーストベイ アジア青少年センター
- 事例7：スマート・プログラム
- 事例8：ピア・ツー・ピア大学
- 事例9：NuVu

第2章 フランス

総論：子どもの貧困と教育をめぐるフランスの状況

- 事例1：フォーラム・デ・アソシアシオン
- 事例2：余暇・社会統合協会
- 事例3：地域文化・経済・社会協会
- 事例4：サンブロン
- 事例5：レゾリス
- 事例6：パスポート・アブニール（未来へのパスポート）
- 事例7：ATDカールモンド
- 事例8：オートウイユ職業訓練院

第3章 イギリス

総論：就学前保育と教育

- 事例1：ランベス早期行動パートナーシップ
- 事例2：カーディナル・ヒューム・センター
- 事例3：子ども協会
- 事例4：ロンドン市長基金
- 事例5：ファミリー・アクション

第4章 日本

総論：子どもの貧困に関する政策の動向と課題

- 事例1：日本財団・子どもサポートプロジェクト
- 事例2：彩の国子ども・若者ネットワーク
- 事例3：True Colors
- 事例4：チャイルド・リソース・センター
- 事例5：エデュケーションエークューブ
- 事例6：子どもデザイン教室
- 事例7：おおさか子ども多文化センター
- 事例8：豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
- 事例9：暮らしづくりネットワーク北芝
- 事例10：グリーンコープ生活協同組合
ふくおか・子ども支援オフィス

お申し込み方法 全国各地の書店 または
日本青年館 FAX 03-6452-9026 までご注文下さい
<http://www.social-edu.com>

発行 （一財）日本青年館「社会教育」編集部
【電話】03-6452-9021 【ファックス】03-6452-9026
【メール】social-edu@nippon-seinenkan.or.jp